

一般社団法人太陽光発電協会
第41回太陽光発電シンポジウム

地域に裨益する、分散型エネルギーシステムとは



資源エネルギー庁長官賞



新エネ大賞

ローカルから発信！
持続可能なエネルギー
地産地消・経済循環モデル

脱炭素社会を支える地域新電力となるために

2024年11月7日



常務執行役員 総務部長兼電力事業部長

上保 裕典

〈企業理念〉

エネルギーの地産地消による新たな地域経済基盤の創出

直面している課題を**ジブンゴト**として考え、2015年12月に設立した
米子市・境港市・地元企業**5**社による**自治体新電力**



米子市



境港市



中海テレビ放送



山陰酸素工業株式会社



三栄株式会社

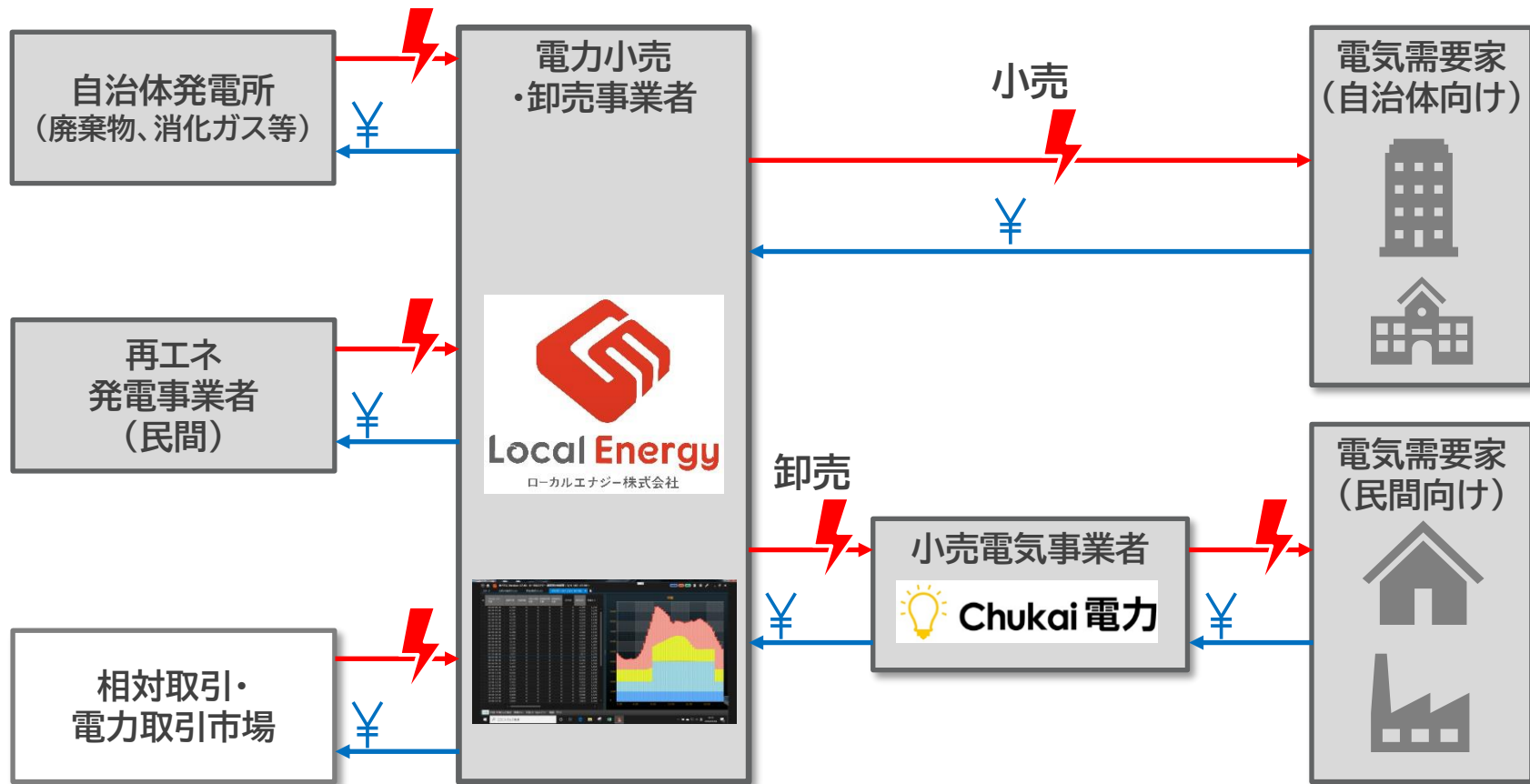


米子ガス



皆生温泉観光株式会社

中核となる「電力小売・卸売事業」 (2016年4月1日開始)



RE100電気の供給によって 自治体等のゼロカーボンシティの実現へ



米子水鳥公園ネイチャーセンター
(公共施設)

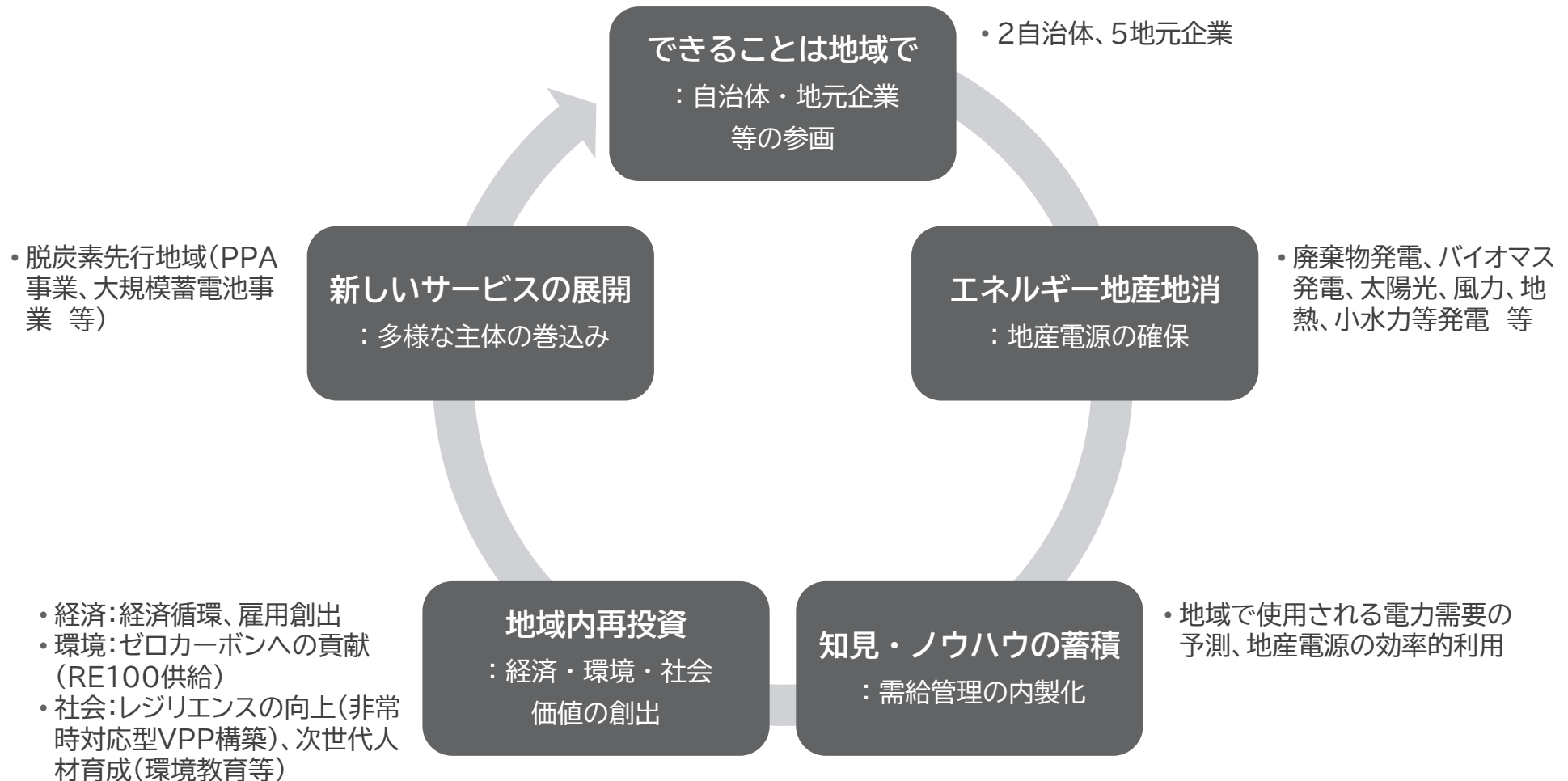


スターバックス：3店舗
(鳥取県・島根県)



松江玉湯店

新しい地域価値の創出と成長サイクルの構築



地域課題解決 を目指した **非FIT再エネの地産地消** と 自治体が連携したCO₂排出管理 によるゼロカーボンシティの早期実現

※対象地域：米子市中心市街地、境港市観光地、2市の公共施設群及び荒廃農地。

【地域課題】

地域経済の活性化
(脱炭素)

水道事業の事業継続
(BCP)

荒廃農地の活用
(雑草・害虫対策)

行政事務の効率化
(行政DX)

【民生部門の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロの取組】

再エネ供給事業
(非FIT+自己託送)

非FIT太陽光発電PPA事業
(オンサイト・オフサイト)

再エネ需給調整
蓄電池事業

データプラットフォーム
(見える化)

【民生部門以外の温室効果ガス排出削減等の取組】

公用車の
電気自動車への移行

地域エネルギー
プラットフォームの拡大

カーボンニュートラルに
関する教育及び広報活動

非FIT太陽光発電PPA事業（オンサイト）

- 米子市の公共施設である「淀江どんぐりこども園」「伯仙地区農業集落排水施設」、境港市の公共施設である「境港市学校給食センター」にオンサイトPPAを導入。令和6年4月1日より運用開始。
- 発電される再生可能エネルギーは年間約382,000kWh、削減できるCO₂排出量は約92.8tとなる見込。



淀江どんぐりこども園（67.65kW）



伯仙地区農業集落排水施設（179.28kW）

資料：「脱炭素社会を目指したオンサイト PPA の導入について」
https://www.lenec.co.jp/info_files/2493573019.pdf

地域裨益型再エネの普及に向けた取組

- 脱炭素先行地域（脱炭素×地域課題解決）の認知度向上や理解深耕、参加促進に向けた普及啓発。

【ガイナレ鳥取 ローカルエナジースペシャルマッチ（2024年10月13日）による普及啓発】

LOCAL ENERGY × GAINARE TOTTORI

こんにちは！ローカルエナジーのロロカルです。

ローカルエナジーはこのまちの電力会社。
地元で作った電気をみんなの近くの施設や、
学校に届けています。

CO2(二酸化炭素)を出さない
地球にやさしい電気を届けるために、
ガイナレ鳥取と力を合わせているよ！

10.13 13:00～
2024明治安田J3リーグ 第32節 オールガイナレYAJINスタジアム

 **Local Energy**
ローカルエナジー株式会社
〒683-0812
鳥取県米子市角盤町1丁目55番地2
中野テレビ放送センタービル2F
Tel: (0859) 57-5415
Fax: (0859) 57-5827

 **NEWS!**
第1回脱炭素先行地域に選定
(米子市・境港市・山陰合同銀行・ローカルエナジー株式会社)

米子市、境港市、山陰合同銀行とローカルエナジーは2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、家庭や公共施設(市役所・学校等)・事業所などの電力消費に伴うCO₂排出量を2030年度までに実質ゼロを目指し、全国で先行して実現する地域(脱炭素先行地域)に選ばれました。この取り組みを地域に広げていき、地球に優しいエネルギーを活用したカーボンニュートラルを実現していきます。

脱炭素先行地域事業 

除草等
整備不要

費用負担
原則なし

賃貸借
も可能

太陽光発電のための
土地 (未利用農地限定)
を買い取ります!!

ごうぎんエナジーでは、米子市・境港市・ローカルエナジーとともに、“ごうぎんグループ”として脱炭素先行地域事業に取り組んでいます。その中で、未利用の農地に太陽光発電を設置し、市民の皆様が日ごろ利用されている公共施設(市役所、学校、公民館など)に再エネを供給する本事業を通じて、持続的な地域づくりを応援しています。


買収 → 太陽光発電設置(維持管理) → 再エネ電力供給
未利用農地所有者様 ← 土地代金支払 ← 電力料金支払 ← 市内公共施設等

ご所有農地土地の状況に応じて個別に調査・検討させていただきます。
以下の条件を参考に、まずはお気軽にご相談ください。

- ✓ 条件1：弓浜地区で利用されていない農地
- ✓ 条件2：約300坪の土地(複数の隣地と併せてでもOKです！)
- ✓ 条件3：道に接している＆電柱が近くにある(なお良し!!)

※農地転用や手続きに必要な費用は弊社で負担します。
※賃貸をご希望の場合は、20年以上の賃貸借契約が必要です。



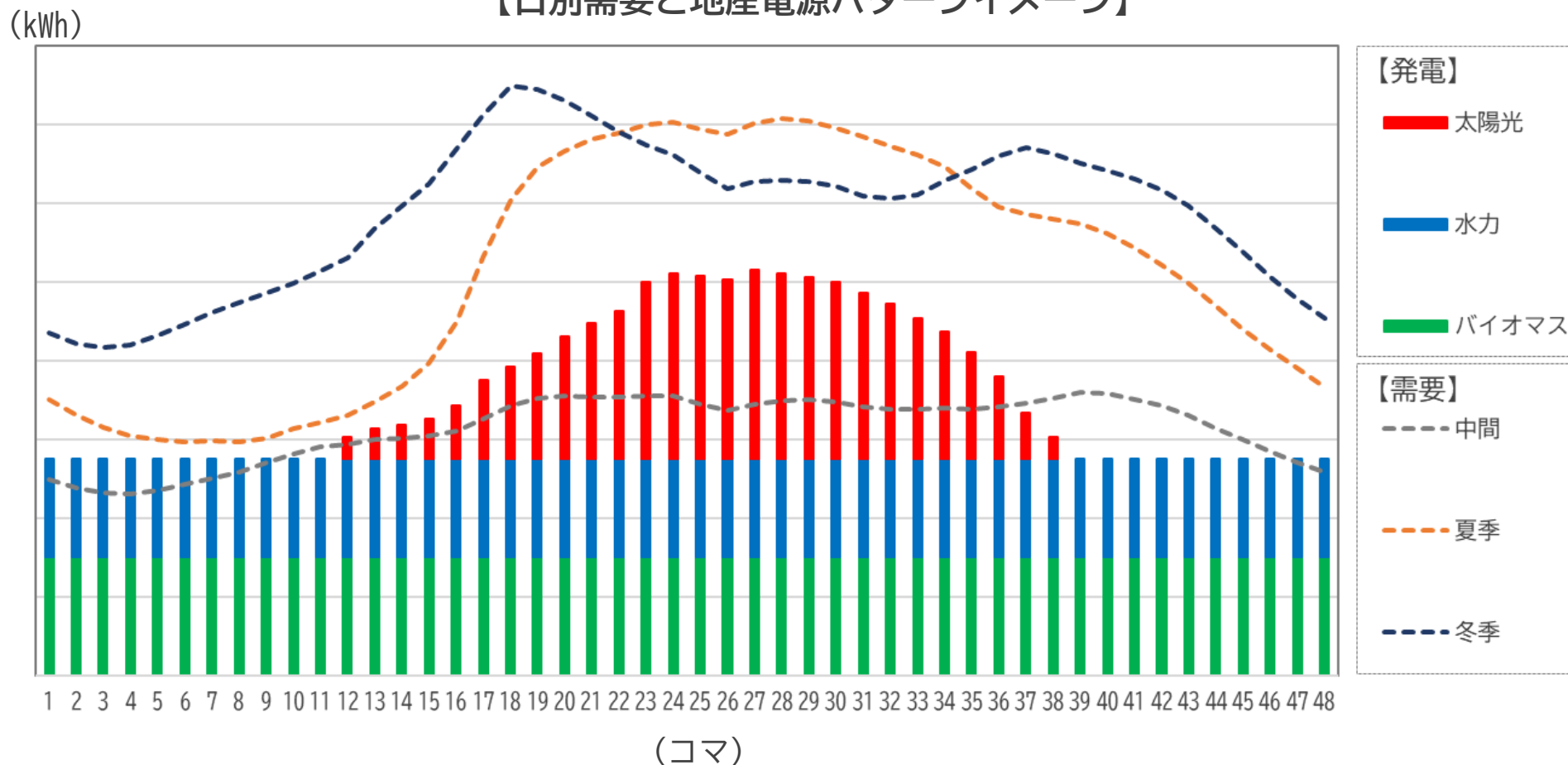
今後の課題 ～地域における電力供給の安定化～

非FIT地産電源の確保

調整力の確保

エネルギーマネジメント

【日別需要と地産電源パターンイメージ】



お問い合わせ

ローカルエナジー株式会社 上保（うわぼ）

〒683-0812

鳥取県米子市角盤町1-55-2 中海センタービル2F

TEL：0859-57-5415 FAX：0859-57-6827

E-mail：uwabo@lenec.co.jp

【HP】

www.lenec.co.jp

【facebook】

<https://www.facebook.com/lenec.co.jp/>

【Instagram】

<https://www.instagram.com/localenergyofficial/>

 Local Energy



イメージキャラクター：ロロカル